

平成29年度 都城市立菓子野小学校 関係者評価書(学校運営協議会の評価)

※4段階評価(4:期待以上 3:ほぼ期待通り 2:やや期待を下回る 1:改善を要する)

評価項目	評価指標等	方策・手立て	評定	学校運営協議会のコメント	
1 基礎学力の向上	① 基礎的・基本的学習内容の確実な定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学業指導の徹底</li> <li>○ 授業改善、指導法の改善</li> <li>○ 主題研究を通じた共通理解・共通実践</li> <li>○ スキルタイムの充実 (Web学習単元評価等の完全実施・国語科スキル実施)</li> <li>○ 個に応じた指導の充実</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年、児童の学力には個人差がある。各学級における基本的な学習訓練の定着及び授業の改善へ向けて全力で指導していく。</li> <li>○ 児童は、週1回の読み聞かせ、昼休み時間の図書室利用、学級文庫、くれよん号来校等読書への関心はある。読書量や内容については個人差があり、家読の啓発に努める。</li> <li>○ 学校と家庭が連携し、家庭における学習習慣の確立を今後とも目指していく。(家庭学習の定着とあわせて、ノーメディア週間の実施におけるゲーム等へのルール決め)</li> <li>○ 保護者・地域からの評価アンケートを受けて、学校として全力で児童の基礎学力の向上を全教職員で目指していく。</li> </ul>	
	② 読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童の読書意欲向上</li> <li>○ 読書の質の向上</li> <li>○ 読み聞かせの全学年実施</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 図書館教育の充実(図書館サポーターとの活用)</li> <li>○ 読書活用の工夫と意欲付け</li> <li>○ ひまわりグループとの連携</li> </ul>
	③ 家庭学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭と連携した家庭学習の習慣化</li> <li>○ 各家庭での家読の実施</li> <li>○ ノーメディアデーの推進</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「家庭学習の手引き」を活用した指導の徹底</li> <li>○ 懇談会等での保護者への啓発</li> <li>○ 家読の啓発</li> <li>○ ノーメディア週間の実施</li> </ul>
2 豊かな心の育成	① 道徳教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 思いやりの心の醸成</li> <li>○ 「特別な教科 道徳」の実践</li> <li>○ 環境美化の推進</li> <li>○ 花栽培による心の育成</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 豊かな心の育成が基礎学力の向上につながっていると思われ、豊かな心の育成が第一である。このことを常に意識し、児童の指導にあたる。</li> <li>○ オープンスクールの出席率が28年度よりも低く、保護者や地域の方等に授業参観の案内を推進していく。</li> <li>○ 保護者と学級担任とのよりよい信頼関係づくりを目指し、各学年参観日の授業参観率及び学級懇談率を上げる工夫を行う。</li> <li>○ 学校における児童の様子や実態をしっかりと把握して、学校・保護者・地域(学校運営協議委員)の三位一体となった連携を強化し、よりよい学校づくりを目指す。</li> <li>○ 基本的な生活習慣の定着を、幼保小中が連携して目指し、保護者の教育力をアップする。</li> </ul>	
	② 基本的な生活習慣の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 規範意識の高揚</li> <li>○ 「菓子野っ子よい子の1日」の徹底</li> <li>○ 気持ちよいあいさつや正しい言葉遣い</li> <li>○ 無言移動、無言清掃</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全職員の共通理解と共通実践・指導の徹底</li> <li>○ 学級活動、日常指導の工夫</li> <li>○ 各清掃場所での無言清掃の指導の工夫</li> </ul>
	③ 人権教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ お互いを認め合う心の育成</li> <li>○ 自己肯定感の高揚</li> <li>○ 指導法の工夫・改善</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全教育活動を通じた実践</li> <li>○ 全校・異学年交流の実施</li> <li>○ 職員研修、授業研究の実施</li> </ul>
3 健康安全教育の推進	① 体力向上プランの確実な実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運動に取り組む環境整備</li> <li>○ 体力テストの結果</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 持久走やなわとびの練習により、児童の運動への関心が高まるとともに体力が少しずつ向上している。</li> <li>○ 「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムが身に付くために、学校が保護者と連携して啓発に努める。</li> <li>○ 児童が立腰を常に意識するように、各学級で授業における学習訓練等をしっかりと指導する。</li> <li>○ 夏休み、冬休みを利用した「弁当づくり」を各家庭、ほぼ全員の児童が保護者と一緒に取り組んでいたで継続していきたい。</li> </ul>	
	② 健康安全教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化</li> <li>○ 立腰指導の徹底</li> <li>○ 防災体制整備による安全確保</li> <li>○ 緊急時等の連絡体制整備</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 週間の設定による取組強化</li> <li>○ 授業における立腰指導</li> <li>○ 3防体制(防災、防犯、防疫)の確立</li> <li>○ 「学校安心・安全メール」による情報の発信と共有化</li> </ul>
	③ 食育に関する指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「子どもがつくる弁当の日」の実践</li> <li>○ 栄養指導の充実</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学年に応じた「菓子野小弁当の日」の実践</li> <li>○ 養護教諭と担任が連携した指導の工夫</li> </ul>
4 ふるさと学習推進	① 地域の教育資源の積極的な活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域と関連させた総合的な学習の時間「きらめきタイム」の充実</li> <li>○ 伝統芸能の継承</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3年以上が総合的な学習の時間を利用して、地域素材・人材を活用した授業を展開することができた。次年度も継続していく。</li> <li>○ 朝の見守り隊で、児童と一緒に登校することで通学路における危険箇所を把握することができた。</li> <li>○ 学校支援ボランティアが児童の活動に関わることができ、教育活動が充実していた。</li> </ul>	
	② 地域や各関係機関と連携した体験活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校支援ボランティア組織の活用</li> <li>○ 各関係機関と連携した体験活動</li> <li>○ 地域行事への積極的参加</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 花つくりや学習支援でのボランティアの活用</li> <li>○ そよかぜグループとの連携した活動の実施</li> <li>○ 学校での地域の行事への参加の呼びかけ</li> </ul>
5 信頼される学校づくり	① 教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コンプライアンスの遵守</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生命の尊さや食育の大切さ等を学校や家庭、地域等のあらゆる活動において伝えていく必要がある。</li> <li>○ 毎月学校便り「かしのっ子」を発行することができ、学校での児童の様子等を伝えることができた。</li> <li>○ ホームページでは、給食の記事は更新が見られたがそれ以外の記事は更新がされてなかった。今後、学校で分担して更新をしていく。</li> </ul>	
	② 家庭・地域との連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭・地域との密な連携</li> <li>○ 地域と連携した防災</li> <li>○ 学校運営協議会の充実</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研修の実施、日常の取組</li> <li>○ 密な情報交換と情報発信</li> <li>○ 地域と連携した安全教育の取組</li> <li>○ 学校運営協議会を活用した実践</li> <li>○ 学校評価の活用</li> <li>○ 情報収集</li> </ul>
	③ 教育活動の外部発信とPCネットワークの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校だよりの発行</li> <li>○ ホームページの充実</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校だよりの「かしのっ子」を発行による保護者及び地域への情報発信</li> <li>○ ホームページの更新によるより新しい情報の発信</li> </ul>
	④ 一貫教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 庄内地区小中一貫教育、幼保小連携の推進</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小中一貫教育の共通実践</li> <li>○ 中学校や幼稚園・保育園との情報交換</li> </ul>

総合所見

○ 5つの中で、特に豊かな心の育成の推進を学校・家庭・地域がしっかりと連携・協働して強化してほしい。次年度は、新PTA組織の改革が行われ、全保護者の学校に対する理解と協力が増し、学校と保護者、地域の信頼関係を高めていってほしい。また、地域の教育資源をもっと活用し、児童が菓子野校区や庄内地区への愛情と誇りをもつようになってほしい。